

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2006年1月1日～2013年12月31日の間に、造血器疾患のために虎の門病院血液内科に入院・通院し、初回の同種造血幹細胞移植を受けられた方

【研究課題名】

同種移植後早期における中枢神経合併症の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

この研究は当院で造血器疾患に対して初回の同種移植を行った方の中枢神経合併症の発症頻度、原因、危険因子を検討し、より合併症の予防や対策を発展させるためのものです。

《研究に至る背景》

同種造血幹細胞移植の治療関連死亡率は依然として高く、その安全性を高めるうえで合併症に対する予防・早期介入法の確立が重要です。中でも、移植後早期に発症する意識障害やけいれんといった中枢神経（脳や脊髄）に関連した合併症は未だ未解明な点が多く、かつ一旦発症すると重篤になったり後遺症が残ったりする場合があります。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2016年6月29日 ～ 2020年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院・血液内科 谷口 修一 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、画像検査、治療経過など

【研究代表者】

虎の門病院・血液内科・景山 康生

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科 谷口 修一

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2016年7月30日（記載必須）までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 景山康生

電話 03-3588-1111(代表)